



6月19日・26日（日）教会設立41周年 記念礼拝

今月で当教会は41周年を迎えます。

今まで、このともしび通信をお読み下さり、支えて下さったことを感謝します。  
また、常日頃の活動に対するご理解に心より感謝します。

## ☐聖書メッセージ

牧師 加藤 信行

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者がひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」 ヨハネの福音書 3章 16節

私たちの教会は、今月(6月)の月末に設立されてから41年目となります。神さまの全ての守りに感謝します。私は小学校2年生の時に、当教会に集うようになりました。33年前のことです

## 少年の心にあった2つの思い.....

33年前の夏、他県から町田市に引っ越して来た少年の心は、高揚感でいっぱいでした。  
イエス・キリストを信じて歩み出したばかりの私にとって、神さまの守りと助けは絶対的なものでした。



左から2番目  
33年前の牧師  
(小学2年生当時)

しかし現実には少年にとっても厳しいもので・・・新しい環境で友人関係につまずき、日々、不安が強まっています。そんな折、両親とともに、町田バプテスト教会を訪れました。

## 教会生活の記憶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

通い出したばかりの頃、教会の集会がどうだったかなど記憶にあまり残っていません(笑) 駐車場で、教会で出会った友人たちと延々と遊んでいた情景が、今も心に残っています。大人たちに温かく見守られ、帰りたくない日曜日の午後を過ごしていました。

自分の居場所が【ここ】にある。言葉にはできない安心感が確かにあり、不安はいつの間にか消えていました。

## バプテスマ式の記憶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

翌年、私はバプテスマを受けました。毎週ともに遊んでいた友人と一緒にです。その時、冒頭のみことばを歌った「神はひとり子を」(聖歌396番)をその友人と特別賛美したことをよく覚えています。イエス様が自分の罪を赦すため死んで下さったことを心から感謝し、その愛を伝えたいと願わされました。今も同じ思いで、牧師として歩んでいます。

教会の礼拝は変わらず行われています。困難な時代だからこそ、ますますイエス様の愛と、与えられる平安とお伝えしていきたいです。

## とある<sup>クリスチャン</sup>キリスト者のひとりごと \_\_\_\_\_ 松本 勇哉

我が家には双子がいる。

生まれてから1年。いま一番恐れていることは「二十四時間泣き」だ。

「二十四時間泣き」とは、(私の造語で)一人が泣くともう一人が「もらい泣き」するため、泣き声が延々と続くことを言う。最近は泣き声に意思を感じるようになり、意志の強さに比例して、声が大きくなる。これは、都会の居住環境では深刻な問題で、大草原の小さな家などに住まない限り、解決するものではない。

では、どうやって泣き止ませるか。大人が一人しかいない場合、同時に抱っこはできないので、知恵が求められることになる。

なぜこんな話をしたかという、最近教会で、がん患者の方に寄り添うクリスチャン医師の本を読んでいる。この本で一貫して語られていることは「知恵を持って相手に寄り添うこと」そしてそのヒントが聖書にあるということ。

赤ちゃんとがん患者、相手を労るわることができるのは、どれだけ知恵を持って寄り添えるかだということが同じだった。身近な人に、いつでも知恵をもって寄り添える人になりたい。

## 【集案案内】

※新型コロナウイルス感染予防のため、来会の際にはご連絡ください。  
歓迎いたします!

6月19日(日)、26日(日) AM10:30~11:40  
教会設立41周年・記念礼拝 <会堂・オンライン並行開催>

毎週日曜日

- I 礼拝 AM10:30~11:40
- II 礼拝 PM3:00~4:00 (当分、時間変更で開催)

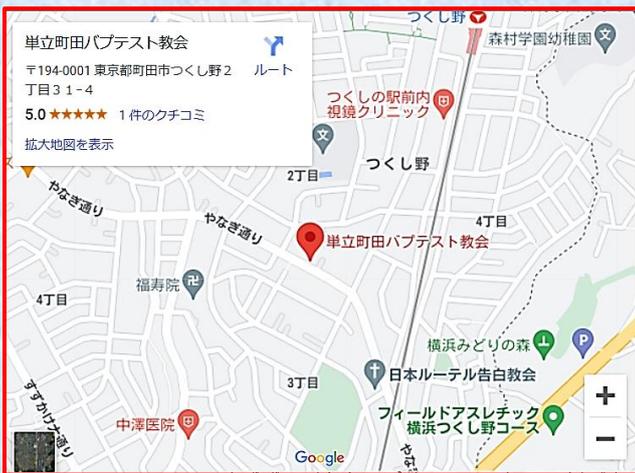
YouTubeのリンク



【オンラインプログラム】

毎週日曜日 AM10:30~

礼拝配信を [公式ホームページ](#) & [YouTube](#)  にて期間限定で一般公開



Google マップを表示



## 単立 町田バプテスト教会

牧師 加藤信行  
代表・協力牧師 松本俊雄

アクセス&お問合せ先

- 東京都 町田市つくし野 2-31-4
- <http://goodnews194.com>
- 042-796-3822
- mail: machida@church.email.ne.jp

